

三寒四温、少しずつ春の息吹が感じられる季節になってきました。3年生はいよいよ卒業式です。おめでとうございます。これからの各方面での御活躍をお祈りします。在校生も、先輩たちの伝統を引き継ぎ、大農のさらなる発展を期してほしいものです。

「デートDV防止出前講座」を開催しました！

1月15日（金）の第6限目、3年生のホームルーム活動にて、大洲人権擁護委員協議会男女共同参画委員会による「デートDV防止出前講座」を実施していただきました。例年は、卒業を控えた3年生全体で「座談会」として実施してきましたが、今年は新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点からクラス別開催としていただき、用意していただいたプレゼンテーションに沿って、3本の事例紹介DVD視聴を交えて展開していただきました。以下に、参加者の感想をいくつか抜粋して紹介します。



参加者の感想から

- ◇今回、デートDVについて詳しく学ぶことができました。これから先、たくさんの人と出会ってくると思います。その時、自分が嫌なことは嫌ときちんと言え、気持ちを伝えていくことを大切にしたいと思います。（中略）自分を大切にするのはもちろんのこと、相手のことも大切にしてい、いい関係を保つ恋愛をしていきたいと思います。これから学んだことを生かします。
- ◇（上略）DVというと暴力だけなのかなと思っていたけど、そうではなく身体や性的なことも入るのを知りました。私も、相手に不快な思いをさせたくないと思、よく我慢することがあります。私が我慢すればけんかなどもなくなるのかなと思うけど、実際は、お互いが思ったことを伝え合えないといけないことが分かりました。（下略）
- ◇（上略）我慢しないで話し合うことが大切（本当に好きなのであれば聞いてくれるはず）。友人の支えが大事。相談を受けたら、「別れた方がいいよ」というのは禁止。身体的暴力を受けたらすぐ110番へ連絡する。わいせつな自撮り写真を誰かに送ったりしない。断ることも大切。等々。同じようなことをされたら、冷静な判断をして、断っていききたいです。自分もする側にならないよう、適度な距離を保った上で、交際をしていきたいです。
- ◇デートDVについてあまり知らなかったけど、この授業で、相手に支配をされたり、暴力をされたり、制限されたりということが分かりました。これからの人生で、このようなことがないように、気をつけていきたいなと思いました。



※ 本校図書館にあるオススメの人権に関する図書を紹介し、御一読を！

- ◇ 斎藤直子「結婚差別の社会学」勁草書房（2017.5.20）
- ◇ 角岡伸彦「ふしぎな部落差別」ちくま新書（2016.6.10）
- ◇ 薬師実芳他「LGBTってなんだろう？」合同出版（2014.9.25）
- ◇ 三成三保他「歴史を読み替える ジェンダーから見た世界史」大月書店（2014.5.27）
- ◇ 毎日新聞取材班「境界を生きる～性と生のはざままで」毎日新聞社（2013.2.10）

3学期 人権・同和教育ホームルーム活動を実施

1月22日（金）（1年1組は1月29日）、第3学期の人権・同和教育ホームルーム活動を実施しました。今年は、例年「デートDVに関する座談会」で代替していた3年生も通常のホームルーム活動として実施しました。

1年生は、「差別の現実に学ぶ（Ⅲ）」というテーマの下、1組はハンセン病と新型コロナウイルスの感染症差別の事例から、2組はサブタイトルを「多様な性ってなんだろう」として、ちがいを認め個性や立場を尊重することの大切さを考え、学びました。



【生徒の感想】

- ◇（上略）人間は、人が言っていたら自分も同じことを繰り返して言うところがあると思います。そういうことがなくなれば、少し変わっていけると思います。（下略）
- ◇（上略）私は、人間はみんな自分のセクシュアリティをもっているのだということを初めて知りました。恋人の呼び方として（中略）性別に関係なく「パートナー」と表現するのが素敵だと感じました。

2年生は、「人権の歴史（Ⅲ）」というテーマの下、戦後の解放運動を学びました。手記「私の歩んだ道」から同和問題の解決に向けた歩みを学習するとともに、同和対策事業の意義、成果と課題を学び、差別解消への展望と「自らできること」を考え、学びました。



【生徒の感想】

- ◇識字学級に通う人たちについて学びました。（中略）字を学ぶことによって夕焼けがきれいに見えたり、自分の伝えたいことが文字に表せたりするなど、人生を変えるものだと知りました。（下略）
- ◇「私の歩んだ道」を読んで、（中略）勉強をとおして差別のことを学び世の中のことを知ることが、どれだけ貴重で大切なことなのかということを気付かされました。（下略）

3年生は、「差別の解消（Ⅲ）」というテーマの下、3年間の学習を振り返り、差別をなくす生き方について考えました。また、DVD「ことほぎの心」を視聴し、部落差別の起源に思いをはせ、感想・意見を交流しました。



【生徒の感想】

- ◇（上略）これから先、その時々に関わるべき行動が分かって良かったです。この3年間で自分を見つめ直すことができ、本当に良かったです。（下略）
- ◇（上略）一番大切なことは、自分の差別心に気付くことです。誰しも差別心をどこかで持ってしまっていて、自分でも気付いていない。そのことに気づき、差別に対する考え方を改めることが、人権教育の大切さだと気付くことができました。



教育相談室から

今年度は、3回の「いじめに関するアンケート」を実施しました。申告されたいじめの中身は、「悪口・からかい」が大半で、「無視」と「物理的暴力」もありました。「自分の安易な言動が友だちを苦しめているかもしれない」という想像力を持ち、「いじめゼロ」の学校を目指しましょう。なお、「大洲農業高等学校いじめ防止基本方針」を本校ホームページに掲載しています。ぜひ御一読ください。

※ カラー版はホームページで。 ※ 御家庭でも、人権問題を話題にしてみませんか。